

ウォーターPPPについて

経済建設委員会資料
令和7年3月5日提出

ウォーターPPPとは
水道、下水道、工業用水道分野において、官民連携方式で長期契約により管理と更新を一体的にマネジメントする方式。

下水道事業を取り巻く環境と飯塚市の現状について

下水道事業を取り巻く環境

- | | | | |
|--------|----------|-----|---------------------------------|
| ① 『ヒト』 | 職員数の減少 | ... | 下水道職員の不足・・・技術力の不足、継承困難 |
| ② 『モノ』 | 施設老朽化 | ... | 下水道施設の更新需要の増加・・・ストック増による維持管理費増加 |
| ③ 『カネ』 | 使用料金収入減少 | ... | 下水道使用料収入の減少・・・経費回収率の減少 |

『ヒト・モノ・カネ』
が不足

飯塚市の現状

【対象施設】

- ① 飯塚終末処理場 1箇所
- ② ポンプ場 9箇所
- ③ 管渠 約300 k m

【対象業務】

- 処理場・ポンプ場の運転管理・維持管理業務
- 汚泥・脱水ケーキの運搬・処分業務
- 管渠の清掃や緊急修繕業務
- 水質検査や各機器の点検業務・・・など

【65業務】
【20業者】

仕様書発注・民間委託

- 単年度、または3年契約
- 対象を定めた仕様発注
- 維持管理業務

仕様書発注・民間委託からウォーターPPPへ

- 安定して、持続可能な下水道事業の継続が必要
- 令和9年度以降の管渠の改築工事ではウォーターPPPの実施 → 補助要件

- PPP/PFI事業とすることで下水道事業の課題解決が期待
→ ウォーターPPPの実施が必要

(※) プロフィットシェアの例
契約時に見積もった維持管理費などが企業努力や新技術の導入により縮減された場合、縮減分を官民でシェアする。

【65業務】
【20業者】

仕様書発注・民間委託

ウォーターPPP

ウォーターPPPの4つの要件

- 長期契約（原則10年以上）
- 性能発注
- 維持管理と更新を一体的なマネジメント
- プロフィットシェア（※）